

(議長)

次に、小梅議員の発言を許可致します。

「小梅議員」。

「小梅議員」

はい。

それでは早速質問に入らせて頂きます。避難行動要支援者名簿への登録について、でございます。

災害が発生した際に、自力での避難が難しいと思われる方々の名簿の整理を進めているようでとても大事なことだと認識しております。その件で、町内会に協力を求められました。名簿登録同意書の提出願いを該当者に送付しているので、地域の中に要支援者、該当者と思われる人がいたら声を掛けて名簿登録への同意の確認や相談対応をお願いします、という内容の要請でございました。対象者が分かっている対応するんだったらスムーズに進められることなのですが、要支援者に該当される条件があり、要介護3から5とか障害手帳何級とか、療育手帳の何とか、色々な外見では判断が出来ず、大変難しいこととございました。また、外見から見て、見るからに杖をつけて大変そうに歩いているおばあちゃん方に声を掛けてみても、まだ私は介護認定を受けてないよとかそういう返事が返ってくるなど、その判断が大変難しい作業でございました。そういう色々なことの観点からの質問でございます。

1番目としまして、対象者の人数と同意書の回答率はどのくらいだったのか。また同意するとか、しないの割合はどのくらいだったのかお聞きします。

それから2番目に、名簿登録は強制でないようですが、返信なかった人に対し、再度の確認はなされているのでしょうか。

それから3番目、介護度とか障がいの程度などの内容は別としまして、該当者の氏名を知らせることは出来ないのでしょうか。その方がずっと作業が進むと思いました。

それから4番目、以前から作成されている日常の見守りや声かけの必要な要支援者名簿を民生委員とか町内会などにも提供出来ないのでしょうか。

こういう風な疑問を感じましたので、宜しくお願い致します。

「町長」

議長。

(議長)

はい、「町長」。

「町長」

小梅議員のご質問にお答え致します。

避難行動要支援者名簿に関するご質問でございます。

1点目につきましては、対象者数259名中、同意が165名、不同意が111名（正：11名）、未回答が83名で、回収率にしますと、回収率は68パーセントで同意者が64パーセント、不同意者が4パーセントとなっております。

2つ目の確認状況につきましては、これまで2回にわたり該当者への郵送並びに町広報への掲載等を行っており、1回目は昨年11月、2回目は今年2月に実施しております。また、未回答者に関しましては、今後戸別訪問等による確認を予定しております。

3つ目の同意を前提としない氏名等の提供につきましては、要支援者名簿の作成は市町村が行うこととされていることから、同意の可否を取りまとめる時点での町内会等への情報提供は行っておりません。なお、同意を得た方々に関する災害に備えた今後の取り組みにつきましては、町内会をはじめとする関係機関と連携を図り、進めて参りますのでご理解をお願いしたいと思います。

4つ目の、以前から作成されている名簿の提供につきましては、平成24年から25年にかけて作成されたもので、江差町地域防災計画に位置付けられている以前の名簿であることに加え、現状と一致していない可能性があることから今回取りまとめた名簿を提供することとしておりますので、ご理解願いたいと思います。

（議長）

はい、「小梅議員」。

「小梅議員」

はい。今、名簿の事でございますが、以前の名簿はもう、今と合わないのので後からということでもございましたけども、その要支援者名簿の件でちょっとお尋ね致します。

このことで何か調べるのも大変だなんて思って、どうなっているのかななんて思って心配していました時に、北海道新聞の読者の声欄に十勝管内の男性からの投稿が載っていました。その内容は、町内会で要支援者を支えたいという内容でございました。その方は町内会、町内会役員をなさっていて、町内会役員でもって自主防災組織を編成していて、町からはその町内会の要支援者台帳が提供されたということでもございました。相互扶助の精神が発揮される町内会であるように関心を持っていきたくって、そういう意向が書かれてありまして、私も同感というか、共感して、ああなるほど、これが本当だよなんて思っているのですが、江差町の場合はその辺のことをどのように考えてますでしょうか。

（議長）

はい。「町長」。

「町 長」

先程の答弁の中で、私の答弁の中で誤った数字を述べてしまいましたので訂正をお願いしたいと思います。

1点目の、要支援、避難行動要支援者名簿に関する対象者等の数字の中で、不同意の方を111名と申しましたけれども11名の誤りでした。訂正をお願い致します。申し訳ございません。

(議長)

はい、誰。「町民福祉課長」。

「町民福祉課長」

はい。自主防災組織との連携ということのご質問にお答えさせていただきます。

この要支援者名簿につきましては、町内会・自治会、さらには消防・警察、社会福祉協議会等に加えて、地域の自主防災組織に関しましても協力機関という位置付けがされておりますので、そういった団体につきましてもご協力をお願いして参りたいと考えております。以上です。

「小梅議員」

はい。ありがとうございます。

(議長)

いいですか。

「小梅議員」

はい。それでは終わらせてもらいます。宜しいです。

(議長)

はい。

それでは小梅議員の一般質問を終わります。